



第121期

平成28年4月1日～平成29年3月31日

株主の皆様へ

常にお客様への  
感謝の心を持ち、  
品質保証と物流の  
革新を通して、  
社員の成長を求め、  
社会に貢献する。

当社は、産業用包装資材の製造販売を行っております。重包装袋業界ではトップシェアを誇ります。設立以来、お客様からの、こんな物を包みたい・運びたいというご要望に対し、メーカーとしてのこだわりを持って、一つ一つ応えていくことで技術力に磨きをかけてきました。その積み重ねと、常にプラスワンの展開を心がけて、80年余歩んでまいりました。



## 創立100周年の未来に向けて

袋は、内容物を使用する際には捨てられてしまうものではありますが、内容物を保護するだけでなく、お客様の製品を包装している間はおお客様の顔となります。このことにプライドと責任を持って、100周年の未来に向けて、長期持続的な企業価値の向上を目指していきます。

## 社長メッセージ Top Message

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社は第121期（平成28年4月1日～平成29年3月31日）を終了いたしましたので、その概況についてご報告申し上げます。

### 【日本経済の概況】

序盤は円高と株安が進み景況感が悪化しましたが、その後は景況感も次第に上向き、企業業績の改善が続いて、結果として各四半期ともプラス成長となりました。

### 【当社グループの概況】

海外事業が引き続き好調を維持、国内では米麦袋の減少を補う新規受注の獲得や、原価低減に努めた結果、前年比で若干の減収でしたが増益の結果となりました。

### 【今期業績】

連結売上高は19,990百万円で前年同期比78百万円の減収でした。損益では、売上総利益率の向上で、営業利益1,195百万円（前年同期比96百万円の増益）、経常利益1,298百万円（同118百万円の増益）、親会社株主に帰属する当期純利益868百万円（同43百万円の増益）となりました。

### 【来期の見通しと課題】

来期も当社グループの事業環境は容易なものとは言えませんが、グループ全体での営業活動を強化すると



代表取締役社長 **大西 亮**

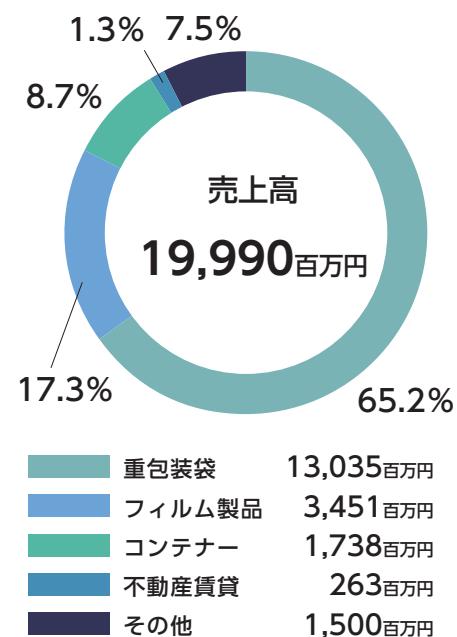
ともに製造環境を整備して、技術力と長年の間に培った顧客との信頼関係を基礎に、取引の拡充と適切な利潤の確保に努めてまいります。

当社グループの来期の業績は、売上高20,500百万円（伸長率2.6%）、営業利益1,226百万円（伸長率2.6%）、経常利益1,332百万円（伸長率2.6%）、親会社株主に帰属する当期純利益894百万円（伸長率2.9%）を見込んでおります。

## 配当について

平成30年3月期は年間30円の配当を予想しております。この配当金額は、平成28年10月の株式併合（2株を1株とする）実施前の1株あたりに換算すると、年間配当15円となり、平成29年3月期と同じです。平成28年3月期に比べると、1円の増配となります。

## セグメント情報



## 製品紹介

## ボックス (BAX)

小袋入りの精米・砂糖・塩等をまとめて包装するのに適した袋です。効率的かつ小袋を傷つけることなく輸送できます。また、開封状態で店頭で陳列できます。同様の機能を持つ段ボールと比べて、以下の利点があります。

- ① コストダウンが図れる。
- ② 省スペース：未使用時の保管スペースは約3割。
- ③ 温室効果ガス排出量を削減できる：使用後処分時の温室効果ガス排出量が約半分。



## 重包装袋

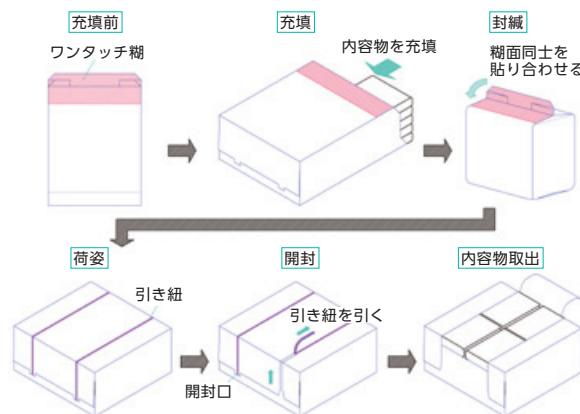
## 【事業説明】

プラスチックの原料等化学工業製品、玄米・精米等の農産物、小麦粉・塩・砂糖等の食品、他にもペットフード、化学肥料、培土等多様な物品を、包装する紙袋・ポリエチレン袋に加え、粉用新製品SVパックを製造・販売しています。

内容物の特性や顧客の要望に応じて、ガスバリア・イージーオープン・超防湿・環境負荷低減等の機能を付加しています。また、米麦袋の全製造ラインにトレーサビリティシステムを設置して、取引先からの品質管理強化の要望に応じています。

## 【事業概況】

当社のクラフト紙袋の売上数量は前年同期比で0.2%増加しました。米麦の減少は2.8%の減少にとどめましたが、主力の合成樹脂用途が1.9%減少しました。製粉、化学薬品等の用途は数量を伸ばしました。ポリエチレン重袋、中型袋の売上数量は、それぞれ前年同期比+6.6%、+3.1%と増加しました。



## フィルム製品

## 【事業説明】

加熱収縮を利用した大型包装用シュリンクフィルム「エスタイト」、フィルムの弾性を利用したパレットストレッチフィルム「エスラップ」、また食品トレーに貼り合わせる印刷用ポリスチレンフィルム「エスクレア」を主とする産業用フィルム。

そして、高い防霧効果と流滴持続性を持ち合わせた農POフィルム「キリヨケバーナル」「スーパーバーナル」、また軽くて作業性に優れた「農サクビ」や果樹専用フィルム「フルーツ物語」などを主とした農業用フィルム。

どちらも、環境に優しいポリエチレン樹脂とポリスチレン樹脂を主原料として、製造・販売しています。

## 【事業概況】

当社のフィルム製品の売上数量は、前年同期比で産業用は6.1%増加しましたが、農業用が△8.4%と減少しました。産業用では、生産設備を更新したHQF、建築需要に伴うアスベスト隔離シートが伸びました。農業用ではハウス用の「バーナルハウス」、「フルーツ物語」や「農サクビ」等が不振を脱し切れていません。原材料であるポリエチレン樹脂とポリスチレン樹脂は、原油価格の反転を反映し、年明けから値上がりに転じました。

## 【主力製品】



(産業用)



(農業用)

## コンテナ

## 【事業説明】

一度に大量の粉粒物を輸送するための、500kg・1t用のワンウェイ・フレコン「エルコン」、5t・20フィート用を主力とした大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」、また液体輸送用の1,000ℓポリエチレンバッグ「エスキューブ」やコンテナライナー「エスタンク」を製造・販売しています。「エスキューブ」については、「食品、添加物等の規格基準」に適合する標準品に加えて、「乳及び乳製品の成分規格等に関する省令」に適合する製品を開発いたしました。

## 【事業概況】

当社のワンウェイ・フレコンの売上数量は、自社品、輸入販売品とも減少しました。大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」は絶対数は少ないながら前期比28.4%増となりました。液体輸送用では、1,000ℓポリエチレンバッグ「エスキューブ」は微減、液体輸送用コンテナライナー「エスタンク」は顧客の需要減にともない減少しました。

## 【エスキューブ】



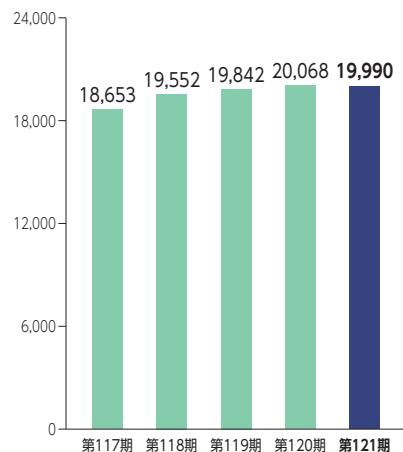
## 不動産賃貸

## 【事業説明】

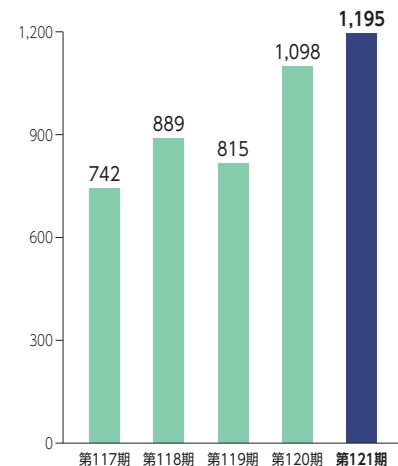
賃貸用不動産の内容に大きな変動はありません。

# 連結財務ハイライト

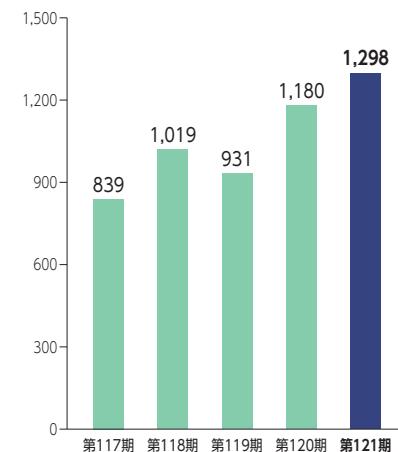
## 売上高 (単位: 百万円)



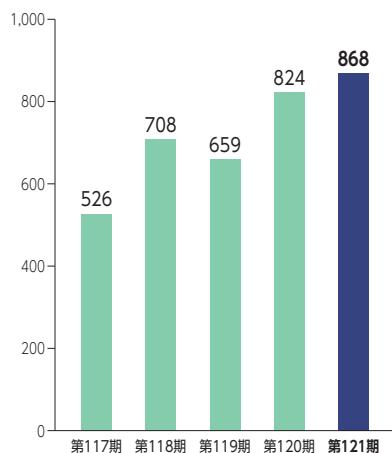
## 営業利益 (単位: 百万円)



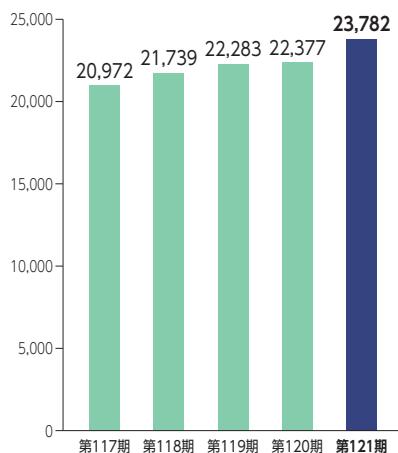
## 経常利益 (単位: 百万円)



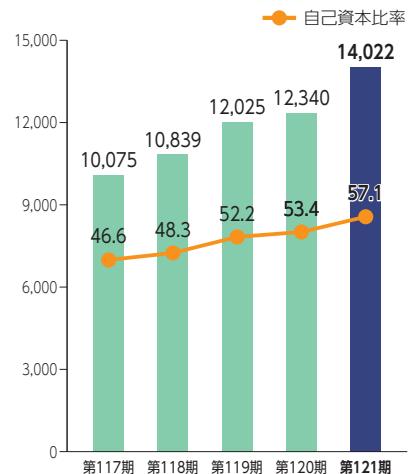
## 親会社株主に帰属する 当期純利益 (単位: 百万円)



## 総資産 (単位: 百万円)



## 純資産 (単位: 百万円) / 自己資本比率 (単位: %)

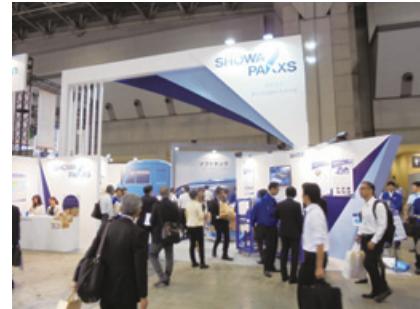


## トピックス

## 東京パック2016に出展

平成28年10月4日～7日に東京ビックサイトで開催された国際包装展「東京パック2016」に出展いたしました。

今回は「届けよう、新たな包装のカタチを」をテーマに、従来の製品に加えて、株式会社アサノ通運と共同開発を行った「ソフトタンク用内袋」、乳製品の輸送に適合した「乳等省令対応エスキューブ」、お客様の設備投資の負担を抑えた「BAX簡易ケーサー」等を展示しました。



## 【ソフトタンクとは】

特殊繊維にウレタンをコーティングした生地に、水密・気密のファスナーを取り付けた液体輸送用の大きな袋。トラックに取り付けることで、一度に12,000ℓの液体輸送が可能となる。

## 【ソフトタンクのメリット】

液体の輸送には、従来、タンクローリーが使用されているが、液体を運んだ帰りには空のタンクを運ぶことが多く、非効率的であった。ソフトタンクを使用すれば、帰りはソフトタンクを外して別の荷物を運ぶことができ、効率的である。

## 【当社が共同開発を行ったソフトタンク用内袋】

内袋は耐腐食・耐薬品性等に優れているため、ソフトタンクに装着すれば、今まで輸送が困難だった化学品・酒類・食用油等、幅広い液体輸送が可能となる。また、内袋は使い切りなので、洗浄の手間が省け、コストを削減できる。

## ソフトタンク用内袋が化学工業日報に紹介される

2016年10月13日付化学工業日報に、株式会社アサノ通運の「ソフトタンク」と当社が共同開発を行った「ソフトタンク用内袋」が、「ソフトタンク 幅広い液体品輸送」「油・薬品に強い内袋装備」と紹介されました。



## 会社概要 (平成29年3月31日現在)

### ■設立

昭和10年12月20日

### ■資本金

6億4,050万円

### ■主要な事業内容

クラフト紙袋、樹脂袋、合成樹脂製品の製造販売および各種包装容器、包装材料、包装関係機械の製造販売

### ■主要な事業所

本 社 〒162-0845

東京都新宿区市谷本村町2番12号

電話 03(3269)5111

支 店 大阪、西日本(山口)、中部(名古屋)、東北(仙台)

工 場 東京(埼玉)、防府(山口)、富山、亀山(三重)、盛岡(岩手)、掛川(静岡)

子会社 九州紙工(鹿児島)、ネスコ(東京)、山陰製袋工業(島根)、山陰パック(島根)、昭友商事(東京)、タイ昭和パックス(タイ王国)

## 当社の株式の状況 (平成29年3月31日現在)

■発行可能株式総数 13,450,000株

■発行済株式の総数 4,450,000株

(注)平成28年10月1日を効力発生日として、株式併合(2株を1株に併合)を行っております。

■株主数 1,037名

### ■大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社サンエー化研	846	19.1
新生紙パルプ商事株式会社	837	18.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	135	3.0
特種東海製紙株式会社	130	2.9
株式会社みずほ銀行	80	1.8
農 林 中 央 金 庫	75	1.7
昭和パックス社員持株会	70	1.6
株式会社鹿児島銀行	70	1.6
岡 本 知 久	53	1.2
岡 本 圭 介	50	1.1

(注)持株比率は自己株式(9,959株)を控除して計算しております。

## 株主メモ

事 業 年 度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月

期末配当金支払  
株 主 確 定 日 3月31日

中間配当金支払  
株 主 確 定 日 9月30日

基 準 日 定時株主総会については、3月31日。その他定款に定めがある場合のほか、必要があるときはあらかじめ公告する一定の日。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社  
本店証券代行部

お 取 扱 窓 口 お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店。

特別口座管理機関 みずほ信託銀行  
お 取 扱 店 フリーダイヤル 0120-288-324  
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

未 払 配 当 金 の  
お 支 払 みずほ信託銀行 本店および全国各支店  
みずほ銀行 本店および全国各支店  
(みずほ証券では取次のみとなります)

単 元 株 式 数 100株

公 告 方 法 電子公告により、当社ホームページに掲載。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることのできない場合は、日本経済新聞に掲載。

## 役員 (取締役および監査役) (平成29年6月29日現在)

代表取締役社長	大 西 亮	
常 務 取 締 役	飯 崎 充	管理本部長
取 締 役	森 文 男	生産本部長
取 締 役	野 崎 和 宏	営業本部長
取 締 役	小野寺香一	フィルム事業企画部長
取 締 役	渡 淳 二	サッポロホールディングス(株)顧問
常 勤 監 査 役	佐 藤 隆	
監 査 役	宮 本 貞 彦	新生紙パルプ(株) 常勤監査役
監 査 役	山 本 明 広	(株)サンエー化研 常務取締役

※渡 淳二氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

※宮本貞彦氏および山本明広氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。